

# 元気UP通信

厚木市立荻野中学校  
心の教室  
平成29年12月

恩師より喪中はがきに返信あり  
母の笑顔の思い出添えて

吉岡

## 12月の開室日 ○：開室日 SC：市川さん

月	火	水	木	金	土	日
				1 ○	2	3
4 ○	5	6 ○	7 SC	8 ○	9	10
11 ○	12	13 ○	14 SC	15 ○	16	17
18 ○	19	20 ○	21 SC	22 ○	23	24
25	26	27	28	29	30	31

校庭の桜の木から美しく色づいた木の葉が風に吹かれて舞い散り、ヒマラヤ杉の高い梢から松ぼっくりに似た大きな木の実が知らないうちに落ちていて地面は砕けたヒマラヤ杉の実がまるで割れせんべいのように散らばっています。それらの中にバラの花のようになっている木の実があるのを知っていますか？私はよくこの花のような木の実を拾って、生け花やクリスマスのリースの材料にして楽しんでいます。西門付近の満天星は燃えるような赤い色になりました。今年は急に寒くなったりしたせいか紅葉が一段と美しいです。

身内の話になりますが、先日、義理の母が突然眠るように亡くなりました。96歳でした。年賀状の準備をする時期なのでしきたりどおり大慌てで喪中のハガキを親せきや知人、お世話になっている方々にお送りしました。数日後、心のこもった丁寧な返事が届きました。それは夫の中学時代の恩師からでした。母親を亡くしたことへのお悔やみの言葉に続き、今年は寂しくても新しい年が明るい良い年であるようにという願い、最後に母親に会った時の母の笑顔のことが書き添えられていました。名もない平凡な一市民の母の生涯に対するささやかな畏敬の念が感じられる文章でした。家族だけに見送られた母にとってはこの1枚のはがきによってその人生が多少とも社会的に認知されたような気がすると同時に、足を止めて、母の人生をしっかり振り返りなさいと言われていたように思われました。この冬は遺品の整理をしながら母の人生を改めてたどっていこうと思います。

新しい年が皆様にとりまして良い歳でありますように。